



2020 (令和二) 年3月3日 (火)

藤 棚

第379号

狭山ヶ丘学園 学校通信

<http://www.sayamagaoka-h.ed.jp/>
<http://www.sayamagaoka-h.ed.jp/js/>

卒業式辞

校長 小川義男

ご卒業 おめでとう。高校卒業の資格がどれほど重いものか。やがて諸君も、そのことを深く実感するに至るであろう。晴れの卒業は、すべて、ご両親、ご家族のご協力のたまものである。また、諸君以上に、今日の卒業を喜んでくださる人も、ご両親である。生涯を通じて、感謝する心を保ってもらいたい。

私は、五歳で母を失ったが、今も母の優しさを忘れることがない。私は、物心ついたときから、母に置き去りにされることを恐れていた。予感があったのであろうか。母有り難し、父有り難し。叱られる事も大切である。親が、厳しく導いてくださることが大切である。だが私は、無際限の愛で愛し、甘えさせて下さった、ご両親、父上、あるいは母上の優しさは、それこそが、諸君を人たらしめたのであると思う。この後は、やがて結婚し、父となり母となって、ご家族の恩に報いてもらいたい。

既に選挙権を有する諸君に、近年、北方領土に関して、国内に政治的危険が存在する事を、指摘しておきたい。北方領土は、千島樺太交換条約によって、日本がロシアから獲得した、疑う余地のない、我が国固有の領土である。少し昔、樺太には、南北共に、日本人とロシア人が混住していた。仲良く暮らしていたのだが、時に、もめ事もあった。そのため、明治政府とロシア帝国が協議して、樺太全土をロシア領として千島列島すべてを日本領として国境を確定したのである。故に「千島樺太交換条約」と呼ばれる。明治八年、1875年の事である。

その後、日本とロシア（当時のソビエト）との間には、「日ソ中立条約」が結ばれていた。しかるに、大東亜戦争において、日本が不利な情勢に陥ったとき、ソビエトのスターリンは、この条約を破って、千島列島を奪い、さらに戦争が完全に停止した後に、米軍が存在しないと確認してから、択捉 国後 歯舞 色丹に侵入し、以来七十年、そこに留まり続け、軍事基地まで設けている。

北方領土の面積は、沖縄本島の4.2倍に当たる。膨大な面積を持つ、我が国固有の領土である。

断じてこれは、取り返さなくてはならない。政界に、極小諸島たる歯舞、色丹のみの返還で、平和条約を締結しようとする気配がある。己の政治的野心のため、国を売るものである。

北方領土の中心的存在は、ハワイのオアフ島と同じ大きさの択捉島、これに続く国後島である。小さな歯舞、色丹のみで、日口関係を安定させようとする者は、繰り返すが、「国を売る者」である。売国奴だ。

我が国が、大東亜戦争に敗れた 1945 年、ソビエトの指導者スターリンは、日本への参戦の条件として、北海道の留萌と釧路を結ぶ線で、領土割譲を要求したとの噂があった。私は、それまでの彼の政治的動きから見て、事実であったろうと思う。アメリカの拒否で実現しなかったらしいが、北方領土に対する日本の今後の動きは、世界が見ている。歯舞、色丹で引き下がれば、「ああそうか。日本人というのは、領土を奪われても、七十年も経てば、その状況にも我慢できる国民なのだ。」と世界の人々は考えるであろう。やがてそれは、北海道そのものに対する、侵略の「呼び水」となる。ロシアのウクライナに対する動きから考えても、危険性は大きい。

もとより北方領土は、私のものでも、諸君のものでもない。諸君の子、孫、千年後の国民という、子々孫々に至る日本人すべてのものなのである。

既に韓国は竹島を不法に奪っている。

石油の埋蔵量において、イラク並みと言われる、尖閣諸島は、紛れもなく我が国固有の領土であるが、中華人民共和国は、これを自国領土と主張し、周辺海域を脅かしつつある。我が国は、六千の島々を有し、排他的経済水域の広さにおいて、世界第六位の大国である。しかし中共は、その島々をも脅かす可能性がある。悲しいことであるが、「守らねば犯される」というのが、今日の国際環境の現実なのである。

別れに当たって、諸君の心に刻み込んでおいてもらいたい。「国際社会とは、危険な場所である」という事を。もうひとつ、「国を守る」とは、女性の名誉と、幼児の生存権を守る事だという事を。

諸君の中には、大学入試に既に勝利した人、目下、戦いつつある人が、おられる事と思う。勝敗を気にするな。負けたら、また戦えば良い。勝って奢らず。負けて挫けず。人生の本当の戦いはこれからだ。「得意冷然 失意泰然」の心を持って、生きて行ってもらいたい。

本日は、入間市長 田中龍夫氏を初め、ご来賓多数の皆様のご列席を頂いている。ご多忙の中、ご列席くださり、卒業生の前途に、錦^{きんじょうはな}上花を添えてくださったことに、深く深く、感謝申し上げます。彼らのため、末永くご指導くださることを切にお願い申し上げます。

保護者の皆様、「ご卒業、本当に、おめでとうございます。この間、人には言えぬご苦勞もあった事と思う。長い歳月、私どもの教育活動の不備にも関わらず、変わらざる、ご支援、ご協力を賜り、本日の良き日に至り得た事を、心から感謝申し上げます。卒業生と共に、ご家族の皆様に、末永きお幸せのあらんことを。

卒業生諸君、いよいよ別れの時となった。諸君、親を大切にしてくれ給え。親は、今は元気であっても、やがて年老い、衰え、諸君より先に世を去って行くものである。迷ったときには、それが親の心にどのように映ずるかを考えて、人生のコースを選択せよ。

では諸君、さよなら。困ったら、迷ったら、母校を訪ねてくれ。教職員一同、心からお待ち申し上げている。諸君の明日に幸あれ。諸君の母校、「狭山ヶ丘」に栄えあれ。